

日進市 データヘルス計画  
(国民健康保険)  
に関する実績および評価報告書

[平成28年度評価]

平成29年12月

(評価)

事業実績やKDBおよびA I c u b e から必要なデータを抽出し評価を行いました。

アウトプット指標についてはほとんどの実施事業にて 28 年度の目標値を達成していませんが、アウトカム指標については事業の半数にて 28 年度の目標値を達成しています。前年度からの改善という視点を加味すれば、12 事業中 11 事業で何らかの成果が出たものと考えられます。

一方、28 年度目標未達かつ前年度比での改善が無く「判定D」となった「特定保健指導事業」については、事業の実施方法の見直しが必要と考えられます。

「特定保健指導事業」については、実施率 8.3%と愛知県平均 16.1%を大きく下回る結果となったことから、実施率向上に向けての取り組みについては特に注力しなければなりません。

将来的な検討課題としては、アウトプット指標では目標値を達成していないが、アウトカム指標が目標値を達成している事業があることから、アウトプット指標とアウトカム指標の関連性について精査する必要があり、次期データヘルス計画においては指標や評価方法の再検討が必要と考えられます。

事業名	アウトプット指標		アウトカム指標		判定
	前年度比	28 年度目標値	前年度比	28 年度目標値	
特定健康診査事業	×	×	○	○	A
特定健診未受診者対策事業	×	×	○	○	A
特定保健指導事業	×	×	×	×	D
健康講演会事業	○	○	×	○	A
成人歯周疾患検診事業	×	×	○	×	C
運動教室事業	○	×	×	○	A
重症化予防対策事業	×	×	○	×	C
がん検診事業	○	×	×	×	C
広報誌掲載事業	×	○	×	×	B
運動普及事業	○	×	×	×	C
たばこ対策事業	○	×	×	×	C
後発医薬品差額通知事業	○	○	○	○	A

「○」：平成 28 年度の値が、改善または目標達成できたもの

「×」：平成 28 年度の値が、改善または目標達成できていないもの

「-」：新規事業のため前年度と比較ができないもの

A：アウトカムの直近値が当該年度の目標値を達成している

B：アウトプットの直近値が当該年度の目標値を達成している

C：アウトカムとアウトプットの直近値のいずれかが前年度値より改善している

D：アウトカムとアウトプットの直近値がともに改善されていない

事業名	特定健康診査事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

### 1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	生活習慣病の予防に着目した効果的・効率的な特定健康診査を実施し、被保険者の健康管理を図る。同時に未受診者対策を実施し、受診率向上を図る。
目標	① 受診率 60.0% ② 1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費の増加率 2.7%
対象者	40歳以上の国保被保険者
事業内容	個別健診と集団健診を実施。
実施方法	個別健診は医療機関へ予約して受診。 集団健診は健診実施日の中から希望する日程を選んで保健センターで受診。

### 2 実施結果「DO（実施）」

平成28年度 実施内容	<p>①個別健診 5月下旬に受診券を送付し、11月30日までに市内の指定医療機関で受診する。法定種目（血清クレアチニン・尿潜血を含む）を実施。</p> <p>②集団健診 5月下旬に送付する受診券に案内ハガキを同封。7月・9月・2月の土日を中心に3日ずつ、計9日間実施。 電子申請での申込受付を実施。 希望者は、がん検診（胃・肺・大腸・子宮・前立腺）も同時受診。 集団健診では結果説明会を開催し、同日に保健指導の初回面接を実施した。 2月実施分は、個別および集団健診未受診者へ勧奨通知を行った。</p> <p>③特定健診を受診した方には、健康マイレージを付与。</p>
----------------	---

### 3 事業の分析「CHECK（評価）」

#### (1) 指標

##### アウトプット指標

指標名		健診受診率（法定報告値より）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			47.0%	55.0%	60.0
	(実績)	44.9%	42.3%	44.3%	42.8%	

##### アウトカム指標

指標名		1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費の増加率				
年度		24～25	25～26	26～27	27～28	28～29
指標データ	(目標)			2.7%	2.7%	2.7%
	(実績)	2.9%	-2.0%	3.1%	1.3%	

#### (2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	アウトカム指標である「1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費」の増加率については、年度目標達成かつ前年度比改善している。しかしながらアウトプット指標である「健診受診率」は年度目標未達かつ前年度比減少している。	

4 次年度（平成 29 年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	①特に40代（23.5%）、50代（32.7%）と受診率が低く、受診勧奨方法について、継続的なアプローチを行いつつ、その方法については今後改善の余地がある。 ②集団特定健診と同時受診の要望が多かった胃がん検診について、受診可能な日を増やし、受診者数の増加を図る。
------	--

事業名	特定健診未受診者対策事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	特定健診の未受診者へ勧奨を行って受診を促し、生活習慣病予防へつなげる。
目標	①過去5年間に一度も受診歴のない人等の解消 3,800人 ②1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費の増加率 2.7%
対象者	特定健診未受診者
事業内容	特定健診未受診者へ特定健診の説明と受診勧奨を行う。
実施方法	対象者へ勧奨ハガキを送付する。

2 実施結果「DO（実施）」

平成28年度 実施内容	①平成22年度から26年度までに、一度も特定健診を受診していない人と平成27年度が未受診で6月30日までに受診のない人へ7月1日に受診勧奨を実施。 ②9月16日に未受診者9,865名へ受診勧奨を実施。 ③12月19日に未受診者7,036名へ集団健診の受診勧奨を実施。
----------------	---

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		2年連続未受診者数（割合）（AI Cube より）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	100名の未受診者解消	100名の未受診者解消	100名の未受診者解消
	(実績)	4,046人	4,021人	4,150人	4,154人	

アウトカム指標

指標名		1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費の増加率				
年度		24～25	25～26	26～27	27～28	28～29
指標データ	(目標)	/	/	2.7%	2.7%	2.7%
	(実績)	2.9%	-2.0%	3.1%	1.3%	

(2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	アウトカム指標である「1人当たり生活習慣病（入通院）に関連する医療費」の増加率については、年度目標達成かつ前年度比改善している。しかしながらアウトプット指標である「2年連続未受診者数」については、年度目標未達かつ前年度比で改善されていない。	

4 次年度（平成29年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	①勧奨回数や実施時期・実施方法について引き続き検討し、対象者別の効果的な勧奨を実施する。特に40代・50代の意識を高める取り組みを積極的に実施する。 ②市内巡回バスでの広告やテレビ放送を使った周知を実施する。
------	---

事業名	特定保健指導事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

### 1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	保健指導を実施することによりメタボリックシンドロームを減少し、生活習慣病の予防を図る。
目標	①実施率 60% ②改善率 50%
対象者	動機付け支援及び積極的支援該当者
事業内容	各対象者へ6ヶ月間、特定保健指導を実施する。
実施方法	医療機関・健康課・委託業者の3機関により実施する。 対象者への文書による通知、電話による勧奨、また、結果説明会を開催して同日に初回面接を実施する。

### 2 実施結果「D0（実施）」

平成28年度 実施内容	①医療機関による保健指導は、13の医療機関で実施。18名が実施した。 ②健康課では、動機付け支援対象者向けの保健指導を6名に実施した。 ③集団健診を実施した委託業者（医）名翔会により健診結果説明会を開催し、同日に初回面接を実施した。初回面接実施者は12名。また、(株)名豊による保健指導は文書による勧奨後に電話での勧奨を行い、対象者の保健指導への参加を促した。初回面接実施者が44名であった。
----------------	--

### 3 事業の分析「CHECK（評価）」

#### (1) 指標

##### アウトプット指標

指標名		実施率（法定報告値より）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	20.0%	20.0%	60.0%
	(実績)	8.9%	13.3%	10.4%	8.3%	
指標名		集団健診受診者の特定保健指導実施率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	/	27.0%	27.0%
	(実績)	23.1%	18.1%	22.3%	26.5%	

##### アウトカム指標

指標名		改善率（法定報告値より）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	30.0%	40.0%	50.0%
	(実績)	19.4%	20.9%	19.4%	19.4%	

(2) 評価

評価結果	A ・ B ・ C ・ <b>D</b>	改善が必要
評価の理由	<p>アウトプット指標について  「実施率」は国保全体における特定保健指導を評価する指標となっており、年度目標未達かつ前年度比においても改善していない。  「集団健診受診者の特定保健指導実施率」は委託業者による特定保健指導を評価する指標となっており、年度目標未達ではあるが前年度比において改善している。  アウトカム指標については、年度目標未達かつ前年度比と同値で改善していない。</p> <p>実施率向上に向けて  ①健康講演会や結果通知説明会などと合わせた勧奨  ②保健センターガイド、広報誌、ホームページなどでの周知  ③集団健診を受診された特定保健指導該当者には、保険年金課職員と健康課保健師で戸別訪問を行い、勧奨を行う。  などの取り組みを行ったが、受診率の向上にはつながらなかった。</p> <p>「実施率」と「集団健診受診者の特定保健指導実施率」に乖離があることは、個別健診を受診者が、特定保健指導に繋がっていないことを示している。引き続き国保全体としての実施率向上に向けての取り組みを継続していくが、特に個別健診受診者の実施率向上については受診者のみならず、医療機関へのアプローチも必要と考える。</p>	

4 次年度（平成 29 年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	<p>①対象者へ戸別訪問を引き続き実施し、保健指導への勧奨を実施する。実施方法については、市職員の訪問だけでなく、委託業者による個別訪問の実施を検討する。</p> <p>②特定保健指導の実施について、医療機関への訪問を検討する。</p>
------	--

事業名	健康講演会事業		事業開始年度	平成27年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

### 1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	主に生活習慣病に関する講演会を実施することにより、参加者の行動変容を促す。
目標	①生活習慣改善のための行動変容への動機付けが向上した人の割合（参加者） 80.0% ②改善率 30.0%
対象者	特定保健指導対象者
事業内容	主に生活習慣病に関する講演会を実施する。
実施方法	特定健康診査等アドバイザーである名古屋学芸大学教授 北川元二先生を講師に招き、保健指導対象者の参加を促し保健指導の実施に繋げる。

### 2 実施結果「DO（実施）」

平成28年度 実施内容	講演会と集団特定健診を同時開催し、参加者の健康意識を高め、特定保健指導に繋がるよう行動変容を促した。
----------------	--

### 3 事業の分析「CHECK（評価）」

#### (1) 指標

##### アウトプット指標

指標名		生活習慣改善のための行動変容への動機付けが向上した人の割合（参加者）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			80.0%	80.0%	80.0%
	(実績)			80.0%	87.5%	

##### アウトカム指標

指標名		講演会参加者の改善率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			30.0%	30.0%	30.0%
	(実績)			60.0%	50.0%	

#### (2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	アウトプット及びアウトカムの各指標ともに目標を達成することができた。	

### 4 次年度（平成29年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	平成28年度と同様に実施する。
------	-----------------

事業名	成人歯周疾患検診事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	健康課	担当係	成人保健係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	節目年齢者に歯科検診及び保健指導を行うことにより、早期の歯周病患者の予防と口腔衛生の改善を図り、歯の喪失を予防する。
目標	① 受診率（補助対象者） 12.0% ② 1人当たり歯科医療費の増加率 2.4%
対象者	30歳～75歳までの5年毎の節目年齢者
事業内容	30歳から75歳までの5年毎の節目年齢者に歯科検診を実施する。70歳未満の国保加入者に検診の自己負担分を補助することで、受診の促進を図る。70歳以上は自己負担金が無料。
実施方法	市内歯科医療機関にて実施。

2 実施結果「D0（実施）」

平成28年度 実施内容	4月上旬に受診券を送付。その際に、歯周病に関するチラシを同封し、知識の普及を図った。 11月下旬に30～60歳の7階級に対して勧奨通知及び歯の喪失に関するチラシを送付した。 平成27年に改正された歯周病検診マニュアルに準じて歯科検診を実施した。
----------------	--

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		受診率（補助対象者）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	12.0%	12.0%	12.0%
	(実績)	9.4%	8.3%	13.3%	11.6%	

アウトカム指標

指標名		1人当たり歯科医療費の増加率				
年度		23～25	24～26	25～27	26～28	27～29
指標データ	(目標)	/	/	2.4%	2.4%	2.4%
	(実績)	2.4%	3.8%	9.4%	7.7%	

(2) 評価

評価結果	A ・ B ・ <b>C</b> ・ D	継続実施
評価の理由	アウトプット指標である「受診率」については、年度目標未達かつ前年度比改善していない。アウトカム指標である「1人当たり歯科医療費の増加率」については、年度目標未達ではあるが前年度比で改善されている。アウトカム指標については、年度目標値との乖離があるが、アウトプット指標については年度目標にわずかに届かない状況であり一定の評価が出来る。	

4 次年度（平成29年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	受診券に同封するチラシの内容に糖尿病との関連を具体的に記載するなど、他疾患との関連についての記載を改善し周知を図る。
------	--

事業名	運動教室事業		事業開始年度	平成21年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

### 1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	特定保健指導対象者に日常生活でも実施可能な運動指導を行うことで生活改善を図り、医療費縮減を目指す。
目標	①1日1時間以上運動する人の割合（参加者） 90.0% ②改善率 40.0%⇒H27年度に目標値到達したため50%に上方修正
対象者	特定保健指導対象者等
事業内容	参加者の年齢状況等に合わせた運動メニューを実施し、効果的な運動方法や日常生活でも実施可能な運動指導を行う。
実施方法	スポーツセンターにおいて対象年齢を分けて、それぞれ3週連続で実施する。

### 2 実施結果「DO（実施）」

平成28年度 実施内容	特定保健指導該当者に対して勧奨を行った。該当者の年齢によって通知文面や開催日時、運動負荷を変えるなどの工夫を行い実施した。 ①40歳～64歳は、土曜日（2月18日・25日・3月4日）の夜間（17時30分～18時30分）に実施した。参加者は7名。 ②65歳以上は、火曜日（2月21日・28日・3月7日）の日中（10時15分～11時45分）に実施した。参加者は20名。
----------------	--

### 3 事業の分析「CHECK（評価）」

#### （1）指標

##### アウトプット指標

指標名		1日1時間以上運動する人の割合（参加者）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	（目標）	/	/	90.0%	90.0%	90.0%
	（実績）	37.5%	70.8%	36.4%	50.0%	
指標名		教室参加者				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	（目標）	/	/	40名	40名	40名
	（実績）	26名	25名	33名	27人	

アウトカム指標（※ 当初計画の目標値に到達したため、目標値を再設定する。）

指標名		参加者の内臓脂肪症候群の改善率				
年度		25	26	27※	28※	29※
指標データ	（目標）	/	/	50.0%	50.0%	50.0%
	（実績）	12.5%	33.3%	68.0%	55.6%	

(2) 評価

評価結果	A ・ B ・ C ・ D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である</p> <p>①「1日1時間以上運動する人の割合（参加者）」については、年度目標未達ではあるが前年度比改善している。</p> <p>②「教室参加者」については、年度目標未達かつ前年度比改善していない。</p> <p>アウトカム指標である「参加者の内臓脂肪症候群の改善率」については、年度目標達成ではあるが前年度比では改善されていない。</p> <p>アウトカム指標の達成により継続実施の方針だが、アウトプット指標の達成に向けては、40歳～64歳の方がより参加しやすいよう、個別で参加できるような実施方法等への改善が必要と思われる。</p>	

4 次年度（平成 29 年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	「教室参加者」の増加を当面の目標とし、勧奨方法や実施方法について検討する。
------	---------------------------------------

事業名	重症化予防対策事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	健診結果から要治療となった方のうち、医療機関へ受診していない未治療者へ受診勧奨を行い、受診を促して重症化を防ぐ。
目標	①受療率 50.0% ②人工透析患者数 17人
対象者	未治療者
事業内容	未治療者に医療機関への受療勧奨を行う。
実施方法	通知の送付により実施。

2 実施結果「D0（実施）」

平成28年度 実施内容	健診の結果、HbA1cの値が7.0以上で、6ヶ月以上医療機関へ受診していない被保険者14人に対し、郵送で通知した後、戸別訪問を行い、受診勧奨を行った。うち4人が医療機関へ受診をした。
----------------	---

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		受療率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			50.0%	50.0%	50.0%
	(実績)			35.3%	28.6%	

アウトカム指標

指標名		人工透析患者数				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			17人	17人	17人
	(実績)		18人	23人	20人	

(2) 評価

評価結果	A・B・ <b>C</b> ・D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である「受療率」については、年度目標未達かつ前年度比改善していない。</p> <p>アウトカム指標である「人工透析患者数」については、年度目標未達ではあるが前年度比で改善されている。</p> <p>継続実施の方針だが、アウトプット指標およびアウトカム指標の関連性については検証の余地があると思われる。</p>	

4 次年度（平成29年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	引き続き対象者へ戸別訪問を実施する。委託業者の訪問についても実施を検討し取り組みを強化する。
------	--

事業名	がん検診事業		事業開始年度	昭和44年度
担当課	健康課	担当係	成人保健係	

## 1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	がん検診の実施及びがん検診推進プロジェクトを行うことで、がん検診の受診促進に繋げる。
目標	①集団特定健診におけるがん検診受診件数 延べ1,200件 ②1人当たり医療費の増加率 1.3%
対象者	40歳以上75歳未満の国民健康被保険者
事業内容	①個別がん検診 受託医療機関にて胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診を実施。 ②集団特定健診同時がん検診 保健センターにて実施する集団健診に合わせて肺・大腸・子宮・前立腺のがん検診を実施。 ③集団がん検診 胃・大腸・乳・子宮がん検診を実施。 ④がん検診推進プロジェクト チラシやポスター、啓発物品等による周知や節目半額制度の実施。
実施方法	①個別がん検診、集団特定健診 ②個別がん検診、集団特定健診同時がん検診 5月下旬に個別がん検診受診券及び集団特定健診申し込みハガキを個別通知し、希望者は市へ申し込む。健康課と連携して事業を実施する。 ③個別がん検診、集団がん検診 ④4月発行の保健センターガイドに申し込みハガキを添付。また、市ホームページ等にて周知する。

## 2 実施結果「DO（実施）」

平成28年度 実施内容	①個別がん検診 受託医療機関にて胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診を実施。 ②集団特定健診同時がん検診 保健センターにて実施する集団健診に合わせて胃・肺・大腸・子宮・前立腺のがん検診を実施。実施回数は、胃がん検診が3回、子宮がん検診が6回、その他のがん検診は9回実施した。 ③集団がん検診 胃・大腸・乳・子宮がん検診を19回実施。 ④5月下旬に節目年齢者へ節目半額券を送付し、節目半額制度の充実を図った。 ⑤節目年齢者の拡大（子宮がん検診を20歳に引き下げる） ⑥がん検診推進プロジェクトの実施 ア チラシやポスター、横断幕、マグネットシート、啓発物品等による周知を実施。 イ 節目対象者や乳幼児健診保護者などさまざまな年代への通知にチラシを同封するなど、「がん検診」の文字を目にできるよう周知。 ウ 保健センターガイド（全戸配布）についている専用ハガキや専用フォームでの申込み受付により、申し込みしやすい体制整備。様々な案内に市ホームページのがん検診ページにリンクできるQRコードを掲載 エ 協会けんぽの健診案内にチラシを同封、商工会での健診時にPRするなど関係機関との協働での周知を実施。
----------------	---

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		集団特定健診におけるがん検診受診件数（延べ）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			1,200件	1,200件	1,200件
	(実績)	448件	1,036件	1,196件	1,197件	

アウトカム指標

指標名		1人当たり医療費の増加率				
年度		23～25	24～26	25～27	26～28	27～29
指標データ	(目標)			1.3%	1.3%	1.3%
	(実績)	1.3%	1.3%	6.8%	7.2%	

(2) 評価

評価結果	A · B · <u>C</u> · D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である「集団特定健診におけるがん検診受診件数（延べ）」については、年度目標未達ではあるが前年度比改善している。</p> <p>アウトカム指標である「1人当たり医療費の増加率」は、年度目標未達かつ前年度比改善されていない。</p> <p>アウトプット指標については概ね年度目標の達成はできている。また、節目年齢半額券については、他の受診券などとはあえて別で送付することにより、多くの対象者によく内容を理解していただくことができた。専用フォームを活用した予約受付も好評であった。</p> <p>アウトカム指標を達成していないためC評価となるが、今後も継続実施し、より受診しやすい環境整備に努める。</p>	

4 次年度（平成29年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	<p>①集団特定健診同時がん検診では、要望が多かった胃がん検診が実施できる日を追加し受診率の向上に取り組む。</p> <p>②乳がんモデルを保健センター窓口に表示し、周知する。</p> <p>③第一生命の生涯設計プランナーによるがん検診案内チラシの配布。</p>
------	---

事業名	広報誌掲載事業		事業開始年度	平成20年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	広報誌に医療費、健康等の情報を掲載し、市民の健康意識の向上を図り、医療費の増加を抑制する。
目標	① 広報誌への掲載回数 年間2回 ② 1人当たりの医療費の増加率 1.3%
対象者	日進市民
事業内容	医療費の状況や健康情報、特定健診等のお知らせを広報誌に掲載する。
実施方法	広報誌のワイド版で掲載する。

2 実施結果「D0（実施）」

平成28年度 実施内容	6月号・10月号の広報誌に特定健診のお知らせと医療費の状況を掲載した。
----------------	-------------------------------------

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		掲載回数				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	1回	2回	2回
	(実績)	0回	1回	2回	2回	

アウトカム指標

指標名		1人当たり医療費の増加率				
年度		23~25	24~26	25~27	26~28	27~29
指標データ	(目標)	/	/	1.3%	1.3%	1.3%
	(実績)	1.3%	1.3%	6.8%	7.2%	

(2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である「掲載回数」については、年度目標達成しており、前年度と同値。  アウトカム指標である「1人当たり医療費の増加率」は、年度目標未達かつ前年度比改善されていない。  対策による医療費削減効果が現れるには、ある程度の年月を要すると考えられることから、アウトプット指標とアウトカム指標の関連性については、長期的な分析・検証が必要と考える。</p>	

4 次年度（平成28年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	掲載内容や時期を精査し継続して周知していく。ワイド情報以外への掲載や、その他の周知方法についても検討する。
------	---

事業名	運動普及事業		事業開始年度	平成23年度
担当課	健康課	担当係	成人保健係	

### 1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	「にっしん体操」を市全体で取り組み、国保加入者も含めた市民の健康意識の向上や健康維持につなげる。
目標	① 自主実施グループの増加 ② 1人当たり医療費の増加率 1.3%
対象者	日進市民
事業内容	にっしん体操は、体力に合わせて4種類あるため、対象に合わせて普及活動を行う。
実施方法	保健師等が市内の各団体へ訪問し、普及啓発を行う。

### 2 実施結果「DO（実施）」

平成28年度 実施内容	新たに5グループが立ち上がり、定期的に体操を実施している。また、既存のグループへの継続実施できるよう支援を行っている。なお、各種イベントでの実施や幼稚園、での出前講習会、老人クラブ健康教育等の普及啓発も継続実施している。また、大学と連携し、にっしん体操のDVDのリニューアルを行った。
----------------	--

### 3 事業の分析「CHECK（評価）」

#### (1) 指標

##### アウトプット指標

指標名		自主実施グループの増加数				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			6グループ以上増加	6グループ以上増加	5グループ以上増加
	(実績)	3グループ	5グループ	11グループ	16グループ	

##### アウトカム指標

指標名		1人当たり医療費の増加率				
年度		23～25	24～26	25～27	26～28	27～29
指標データ	(目標)			1.3%	1.3%	1.3%
	(実績)	1.3%	1.3%	6.8%	7.2%	

#### (2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である「自主実施グループの増加数」については、年度目標未達ではあるが前年度比で改善している。</p> <p>アウトカム指標である「1人当たり医療費の増加率」は、年度目標未達かつ前年度比改善されていない。</p> <p>アウトカム指標を達成していないためC評価となるが、アウトプット指標については概ね目標値の達成はできており、今後も継続実施していく。</p>	

### 4 次年度（平成29年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	次年度は新規立ち上げを含め、自主実施グループの増加数5を目標に継続的支援をする。
------	--

事業名	たばこ対策事業		事業開始年度	平成16年度
担当課	健康課	担当係	成人保健係	

### 1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	禁煙・受動喫煙防止対策を実施して禁煙を促し、喫煙率を低下させる。
目標	① 特定健診受診者の喫煙率 10.0% ② 1人当たり医療費の増加率 1.3%
対象者	喫煙者
事業内容	禁煙や受動喫煙に関する体験談を募集し、それらを広く周知する。健康講演会などでも周知を行っていく。
実施方法	禁煙方法や受動喫煙に関する情報を提供する。

### 2 実施結果「DO（実施）」

平成28年度 実施内容	広報、ホームページで禁煙体験談の募集を行ったほか、愛知県の受動喫煙防止対策実施施設認定制度の周知を行った。11月に健康福祉フェスティバルにて瀬戸保健所と共催で禁煙ブースを設置し周知を行った。
----------------	---

### 3 事業の分析「CHECK（評価）」

#### (1) 指標

##### アウトプット指標

指標名		特定健診受診者の喫煙率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)	/	/	10.0%	10.0%	10.0%
	(実績)	11.9%	11.4%	12.3%	10.9%	

##### アウトカム指標

指標名		1人当たり医療費の増加率				
年度		23~25	24~26	25~27	26~28	27~29
指標データ	(目標)	/	/	1.3%	1.3%	1.3%
	(実績)	1.3%	1.3%	6.8%	7.2%	

#### (2) 評価

評価結果	A・B・ <b>C</b> ・D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である「特定健診受診者の喫煙率」については、年度目標未達ではあるが前年度比で改善している。</p> <p>アウトカム指標である「1人当たり医療費の増加率」は、年度目標未達かつ前年度比改善されていない。</p> <p>平成28年度はアウトプット指標について前年度比での改善があったことは、周知啓発の効果の表れともいえることから、継続実施していく。</p> <p>対策による医療費削減効果が現れるには、ある程度の年月を要すると考えられることから、アウトプット指標とアウトカム指標の関連性については、長期的な分析・検証が必要と考える。</p>	

4 次年度（平成 29 年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	禁煙・受動喫煙防止を推進するため、継続的に広報や市民まつりなど様々な機会を通じて周知啓発を行っていく。
------	---

事業名	後発医薬品差額通知事業		事業開始年度	平成25年度
担当課	保険年金課	担当係	国保係	

1 事業概要「PLAN（計画）」

目的	後発医薬品差額通知を送付することで後発医薬品の普及促進を行い、医療費の縮減を図る。
目標	①後発医薬品への切替率 40.0% ②後発医薬品数量シェア 60.0%
対象者	国保被保険者
事業内容	指定医薬品などの条件から送付対象者を決定し、差額通知（ハガキ）を送付する。
実施方法	指定医薬品、差額、投与期間などから対象者を決定し、ハガキサイズの差額通知を送付する。年2回実施予定。

2 実施結果「D0（実施）」

平成28年度 実施内容	平成28年8月24日に696件送付。条件は、循環器官用薬、投与期間14日以上、差額100円以上で作成。 平成29年2月28日に636件送付。条件は、循環器官用薬、投与期間は1日以上へ拡充、差額100円以上で作成。
----------------	---

3 事業の分析「CHECK（評価）」

(1) 指標

アウトプット指標

指標名		後発医薬品への切替率				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			36.0%	38.0%	40.0%
	(実績)	29.6%	30.4%	36.4%	40.0%	

アウトカム指標

指標名		後発医薬品数量シェア（新基準）				
年度		25	26	27	28	29
指標データ	(目標)			57.0%	58.5%	60.0%
	(実績)	49.7%	50.0%	54.4%	59.4%	

(2) 評価

評価結果	A・B・C・D	継続実施
評価の理由	<p>アウトプット指標である「後発医薬品への切替率」については、年度目標達成かつ前年度比で改善している。</p> <p>アウトカム指標である「後発医薬品数量シェア（新基準）」は、年度目標達成かつ前年度比で改善している。</p> <p>事業について一定の成果があると認められることから継続実施とする。</p>	

4 次年度（平成29年度）事業の進め方「ACTION（改善）」

改善内容	継続的な目標達成や将来的により高い目標値を目指していくには、送付対象を拡大するなどの検討が必要である。
------	---